

恒春の丘からのお知らせ

2020年4月号

☆離任のご挨拶☆



平成22年の開設140ベッドから平成26年の増築60ベッド、そして今日までの10年間は紆余曲折の日々でした…。本当に皆さま方には大変お世話になりました。この4月の法人内異動で恒春ノ郷の施設長との交代があります。至らぬことばかりで皆様には満足していただけるにはまだまだかも知れませんが、恒春の丘の職員は入居者の安全と健康を第一に施設ケアを行っていることをお伝え申し上げます。

最近読んでいた本に「働く」とは「傍を楽にすること」。私は昭和55年3月から国内では2番目か3番目に開始された藤沢市の委託事業デイサービス職員として「介護と福祉」の世界に入り、特別養護老人ホームや有料老人ホームに従事し、3か所の施設の立ち上げを行い、デイ利用者や入所者に「一日に一回だけでも笑顔が出るように」心がけてきました。それが「はたらく」と想起し、何よりも高齢者に敬意を表し、自分の同じ志のある仲間とも一緒に出来ることをやってきました。これからも少しでも親善福祉協会に寄与していきたいと思えます。

なお、後任の施設長として日森昭子が着任します。皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

吉岡博一



☆新型コロナウイルス感染症に関して☆

現在、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が発令されている関係で、面会の禁止、ボランティアさんや美容、訪問マッサージ等の受入れを中止にしております。会への参加を楽しみにされている方、利用をお待ちになられている方には大変ご迷惑をお掛けしておりますが、感染拡大防止の為、ご理解ご協力の程何卒よろしくお願い致します。



特別養護老人ホーム 恒春の丘

【相談課】 高野 竹内 福田 渡辺 片山

恒春の丘からのお知らせ

2020年4月号

☆着任のご挨拶☆

法人内異動により吉岡博一前施設長よりバトンタッチされ、4月1日から『恒春の丘』の施設長を拝命しました 日森昭子 と申します。従来型特養とユニット型特養との違いや、ご利用者200名という規模の大きさに戸惑いながらも、恵まれた自然環境の中、鳥のさえずりに癒されています。ご利用者一人一人にご挨拶を致しましたが、穏やかな表情と笑顔で迎えていただき、日頃のコミュニケーションの良さやご家族の皆様の温かい愛情を感じます。



恒春の丘は、今年2月、開設10周年を迎え、今後は安定した基礎創りの上に、基本理念を表している「親切的」「信頼される」「良質な」ケアの提供を目指して、職員がそれぞれの専門性を探求し、連携して取り組んで参ります。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、"緊急事態宣言"が発令されています。ご不便をおかけしておりますが、職員は感染防止の基本を守り、知恵を出し合い工夫してご利用者全員の安全な生活を守る努力をしていきますので、よろしくお願い申し上げます。



日森昭子

☆お花見・桜のお話し☆

お花見の起源は、奈良時代に中国から伝来した梅を貴族たちが観賞した事が始まりだと言われています。その為、当時のお花見は梅の花が中心でした。それが平安時代になると梅よりも桜の人気の上昇し、お花見と言えば桜の花見となったそうです。記録に残る日本最古のお花見は、嵯峨天皇が812年(弘仁3年)に神泉苑にてもよおした「花宴の説」だと日本後記に記されているそうです。それ以降、お花見は天皇主催の定例行事となり、それに習い、戦国時代には戦国大名の間でも流行したそうです。豊臣秀吉が1598年(慶長3年)3月15日に醍醐寺の三宝院でひらいた醍醐の花見は大規模なもので有名だそうです。庶民の間でお花見が広く広がったのは江戸時代に入ってからだと言われています。自分も毎年大学時代の親友家族と、お花見キャンプを行うのが恒例となっていました。今年は新型コロナウイルス感染症もあり、中止となりました。施設で行っているお花見外出も今年は難しい状況です。感染の状況が落ち着き、一日でも早く、今までの日常が戻ればと祈るばかりです。

相談課 高野



特別養護老人ホーム 恒春の丘

【相談課】 高野 竹内 福田 渡辺 片山